

「2学期を終えて」

今日で、2学期を終了いたしました。

そして、2011年も、あと少しで終わり、新しい年を迎えます。日本漢字能力検定協会が主催している「今年の漢字1文字」では、「絆」が選ばれました。3月11日に発生した東日本大震災を受けて、この震災を機に見直された人とのつながりや、FIFA 女子 W 杯でなでしこジャパンが魅せたチームワークをイメージさせる「絆」の文字が選ばれたようです。因みに、2位は「災」、3位は「震」、4位は「波」、5位は「助」など、震災を連想させる漢字が続いたそうです。

「絆」は、本校においても、第3学年を中心に、学年及び学級、部活動の団結心が高まるよう学校行事や諸活動等に取り組んできました。今学期は、本当にたくさんの学校行事、諸活動によく取り組んだ学期であり、多くの方々からの賞賛を受けることができました。生徒も先生も、本当によくがんばった学期だったと思います。

さて、2学期の始業式に話したことが3つありました。

それは、 1 明るく元気でさわやかな挨拶をしよう。

2 諸行事や諸活動に意欲的に取り組もう。

3 じっくりと腰を据えて学力向上に努めよう。 でした。

1つ目の「明るく元気でさわやかな挨拶をしよう」については、もう少し、頑張っしてほしいなと思うこともあります。生徒会役員改選に立候補してくれた生徒たちが、この挨拶の大切さについて取り上げてくれたことをうれしく思いました。

2つ目の「諸行事や諸活動に意欲的に取り組もう」については、本当にすばらしかったです。

さて、3つ目の「じっくりと腰を据えて学力向上に努めよう」についてです。

このことについては、2学期スタートの段階で、夏の課題未提出者が多くいたことから、思うように諸活動に取り組めない状況があったことを思い出します。また、3年生の中には、大切な高校入試に向けた課題等を計画的に実施できていなかった人もいたようです。

あっという間に過ぎ去る3学期を迎えますが、生徒たちには、これまでに培ってきた力を振り返り、またその力を存分に発揮する学期にしてほしいと考えます。

そのためにも、年末・年始の短い期間の休暇ではありますが、自己の学習課題を明確にして、現段階でできる自己の課題解決に取り組んでほしいものです。

「今やらずしていつやるのか」ということを常に肝に銘じて取り組んでいきたいと思えます。

<学校教育目標>

「自分で考え、正しく判断し、最後までやり抜く生徒」の育成を目指す
小値賀町立小値賀中学校 校長 吉原 幹男

